

行政A



企画振興部 市町村課 行政班
主任 羽澤 彩子

経歴 採用12年目

- H30年 企画振興部 市町村課 行政班
- H25年 観光文化スポーツ部
観光振興課 誘客推進班
- H22年 鹿角地域振興局 総務企画部
総務経理課 経理班
- H20年 生活環境文化部
県民文化政策課
地域活動支援室
- H19年 入庁
生活環境文化部
県民文化政策課 企画班

ある日のスケジュール

- 8:10 出勤
- 8:30 朝礼・朝コミ・メールチェック
- 8:45 住民基本台帳ネットワークシステムに係る日時作業
- 9:15 市町村へ照会を送付
- 10:00 補助金申請事務の市町村とりまとめ、チェック及び起案
- 12:00 昼食
- 13:00 メールチェック
- 13:30 メール(通知等)の内容確認及び市町村への情報展開
- 14:00 個人番号カード交付事務に係る市町村問合わせ対応
- 16:45 メールチェック
- 17:00 メール(通知等)の内容確認及び市町村への情報展開
- 17:30 翌日の業務リスト作成
- 18:00 退庁

わたしの職場はこんなところですよ

市町村課では、人口減少社会にあっても安定した行政サービスを提供できるよう、市町村業務をサポートし、県と市町村の協働・連携を推進しています。私の所属する「行政班」では、地方自治法、地方公務員法、住民基本台帳法に関すること等を取り扱っています。地方自治法は、地方公共団体での予算や議会のあり方等を、地方公務員法では県職員、市町村職員の働き方等を定めており、いずれも地方自治の根幹をなすものです。

県民の皆様には直接見えづらい業務内容かもしれませんが、安心して暮らせる地方公共団体の運営についてサポートできるよう、日々頑張っています。また、市町村課は市町村との交流が盛んで、現在は9名の市町村職員が共に業務に励んでいます。

わたしは今、こんな仕事をしています

主に住民基本台帳法・住基ネットに関すること、個人番号カード交付等に関することを担当しています。皆さんの中には、市町村窓口で住民票を取得したり、個人番号カードを作成したりした方もいらっしゃるのではないのでしょうか。直接事務を行うのは市町村ですが、県では、市町村でのこうした事務が正しく円滑に執行されるよう、法律の解釈や事務処理の方法を調べ市町村に助言したり、システム環境を整えたりします。また、国から市町村等への様々な調査は、県を経由することが多いため、市町村等に回答を依頼し、とりまとめ国へ回答するなど、国と市町村の調整役も担っています。

秋田県のここが好き！

時間がゆったりと流れているところ、文化や自然が豊かなところ、一見シャイに見えますが、本当は情に厚い県民性が大好きです。また、なんといっても日本酒が美味しいところは最大の魅力！！

行政・一般事務職のやりがいはこちら！

地方公務員一般に言えることですが、自身が携わった業務で県民の皆様から反響があった時、特に喜んでいただけた時は大きなやりがいを感じます。

行政・一般事務職ならではのやりがいは、様々な業務経験を経て自身を高め、大局的な視点からよりよい秋田県の実現につながる事業や計画を構築できる立場にあることだと思います。

これまでで特に印象に残っている出来事(エピソード)はありますか？

海外から秋田県への誘客を促進する事業に携わったことです。秋田県のどういうところが海外の方には魅力的に映り、どのように伝えたら「行きたい！！」と思っていただけるのかを考え、戦略や事業を組み立てていくことは、大変貴重な経験になりました。当時は、なかなか目に見える成果が上がらず悔しい思いもりましたが、それが自分を成長させる大きなチャンスになっていたと感じています。海外出張の機会も多く、様々な国の文化、考え方を学ぶことができた点も印象に残っています。

入庁前に抱いていたイメージは実際に働いてみて変わりましたか？

入庁前の職員のイメージは「常に冷静」、「笑顔が少なく近寄りづらい」というものでしたが、いざ入庁してみると、熱い思いを持った優しい職員がとても多いです。また、普段は淡々と業務を遂行しているように見える職員でも、業務後の懇親の場では、秋田県への熱い思いを語るなど「結局みんな秋田県想いな」と感じます。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

行政・一般事務職が担う業務は、皆さんが想像しているよりもずっと遙かに多岐に渡ります。だからこそ、「やりたいことが定まらない」と感じている方もいらっしゃるかもしれませんが、秋田県のために何かしたいという想いさえあれば、自信を持って志望してください。働くうちに、皆さんがこれだ！と思える業務に出会えること、間違いなし！！

行政A



鹿角地域振興局 総務企画部
企画・十和田八幡平観光班
主事 大場 直樹

経歴 採用7年目

- H28年 鹿角地域振興局 総務企画部
地域企画課
企画・十和田八幡平観光班
- H27年 鹿角地域振興局 総務企画部
地域企画課 企画振興班
- H24年 入庁
生活環境部 自然保護課
自然公園班

ある日のスケジュール

- 5:00 起床、子供のおむつ交換
5:10 ジョギング
6:50 朝食・お弁当づくり
7:00 朝食
8:15 出勤
8:30 朝礼
9:00 振興局の重点・懸案事項に関する局長への説明会
- 12:00 昼食
13:00 経済動向調査のため企業訪問
- 15:00 帰庁、報告書作成
16:00 支出伝票の作成、予算執行状況の確認
- 17:15 退庁
17:30 帰宅、子供の世話
18:00 夕食づくり
19:00 夕食
20:00 子供とお風呂
21:00 (子供が眠った後)業務や趣味に関する調べ物、勉強
22:00 就寝

わたしの職場はこんなところですよ

鹿角地域振興局総務企画部地域企画課は、鹿角市や小坂町との協働事業、観光振興、雇用対策、災害対応に関することなど、幅広い内容の仕事をしています。

職員の半数以上が20代から30代と若手が多い職場で、毎日元気に楽しく仕事をしています。

わたしは今、こんな仕事をしています

「企画・十和田八幡平観光班」に所属し、主に振興局内の調整役として事業の進捗状況管理や予算の執行管理などを行っています。

また、鹿角市が掲げる「スキーと駅伝のまち」に呼応した取組として、スポーツ合宿誘致のためのPR活動なども担当しています。

秋田県のここが好き！

季節の移ろいがはっきりしていて、それぞれの季節でおいしい食べ物や楽しいイベント、見所が数多くあるところです。秋田の旬なものを追いかけていると、あっという間に1年が過ぎていきます。

行政・一般事務職のやりがいはここ！

幅広い内容を職務内容としていて、異動のたびに全く知らない分野の仕事を担当する場合があります。日々、担当する仕事に関する勉強を重ねることが必要で大変かもしれませんが、その分自分自身を成長させる機会にあふれていてやりがいを感じられます。

入庁してから大変だったことはありますか？

入庁1年目から許認可事務を担当し、法令に基づく指導や行政処分を行うことにプレッシャーを感じていました。

新社会人として慣れない生活を送る中、根拠となる法令をどう解釈し、どのように指導していくべきか悩むことも多かったです。職場の先輩や上司に何度も助けられ乗り越えることができました。

オフは何をしていますか？

高校から取り組んでいる陸上競技(長距離)を続けていて、ほぼ毎日トレーニングしています。

県庁陸上部に所属し、男鹿駅伝や八郎潟干拓記念駅伝といった大会に毎年出場しています。その他にも、個人的に各種大会に出場するため休日になると県内外を走り回っています。最近では結婚し、子供が生まれたので、走ることは控えめに子育てに追われる毎日です。

どんな人と一緒に働きたいですか？

県を取り巻く課題は複雑で、県職員だけの取組だけでは解決が難しいものもあります。様々な主体と手を取り合って協力し合える関係をつくることのできる、協調性のある人と一緒に働きたいです。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

県職員として働くと、秋田県の魅力をたくさん発見することができます。一緒に働き、秋田県の魅力を国内外に発信していきましょう！そして、駅伝やランニングにご興味のある方、県庁陸上部への入部をお待ちしております！